

# 第1回 道路交通検討幹事会 議 事 要 旨

1 日時 令和3年2月9日（火）14時00分～15時30分

2 場所 いわき市文化センター 3階 大会議室

3 出席者

No	区 分	所 属	氏名	出欠
1	貨物自動車運送事業者 が組織する団体	公益社団法人 福島県トラック協会 いわき支部 支部長	鈴木 健仁	○
2	高速道路管理者	東日本高速道路株式会社東北支社 いわき管理事務所 副所長	奥野 俊	○
3	国	国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課長	加藤 修一	○
4		国土交通省東北地方整備局 小名浜港湾事務所 企画調整課長	中野渡 秀一	○
5	県	福島県いわき建設事務所 企画調査課長	吾妻 敬一	○
6		福島県いわき建設事務所 道路課長	加藤 高洋	○
7		福島県小名浜港湾建設事務所 企画調査課長	齋藤 安浩	○
8	公安委員会	福島県いわき中央警察署 交通第一課長	松崎 郁郎	(代) 交通第一課 交通第二係専門官 小澤 隆
9		福島県いわき東警察署 交通課長	石井 隆浩	○
10		福島県いわき南警察署 交通課長	菅野 智昭	○
11	市	いわき市土木部 土木課長	佐藤 慎一	○
12		いわき市土木部 道路管理課長	渡邊 仁	○
13		いわき市都市建設部 都市計画課長	市毛 芳幸	○幹事長
14		いわき市都市建設部 総合交通対策担当課長	矢吹 隆行	○

- ・事務局：都市建設部都市計画課
- ・その他：報道機関者等

## 4 概要

### (1) 開会

司会による開会の宣言

### (2) 委員紹介

司会から委員の紹介

### (3) 幹事長あいさつ

幹事長の市毛委員による挨拶

### (4) 協議

#### 《確認事項》

#### ① 検討体制（協議会と幹事会）について

都市交通施策の経緯や現在の検討体制について、事務局より説明。

#### ② 策定する計画の概要について

「都市交通マスタープラン」、「都市・地域総合交通戦略」、「地域公共交通計画」の概要と策定までのスケジュールについて、事務局より説明。

#### ③ 現行交通関連計画の概要について

現行交通関連計画や上位計画等における交通に関する記載事項の確認について、事務局より説明。

#### 《検討事項》

#### ④ いわき都市圏の現状・特性と課題について

社会・経済情勢等からみる現状と課題や、本市における道路交通、公共交通の特性と課題について、事務局より説明。

#### ⑤ 現況自動車交通量（暫定版）について

交通実態調査結果から算定した現況自動車交通量（暫定版）について、事務局より説明。

#### ⑥ 公共交通ネットワーク方針（案）について

今後の公共交通ネットワークの基本的な考え方と方針図（案）について、事務局より説明。

#### ⑦ 今後の道路整備の視点と都市交通の目標（案）について

本市の課題や市民意識調査結果や関連計画等を踏まえて、設定した都市交通の基本目標（案）と基本方針（案）について、事務局より説明。

### (5) その他

### (6) 閉会

## 5 配布資料

次第

席次

出席者名簿

資料 1 : [会議資料] 説明資料（第 1 回道路交通検討幹事会）

資料 2 : [参考資料] いわき都市圏の現状・特性と課題（暫定版）

資料 3 : [参考資料] 現況自動車交通量（暫定版）

別冊 1 : [参考資料] 社会資本整備審議会第 16 回道路分科会資料（H29. 8）

別冊 2 : [参考資料] 2040 年、道路の景色が変わる（R 2. 6）

別紙 1 : 道路交通検討幹事会運営要領

別紙 2 : 意見照会様式

## 6 委員からの主な意見と事務局の考え（要旨） ○：委員 ➡事務局

### ④ いわき都市圏の現状・特性と課題について

### ⑤ 現況自動車交通量（暫定版）について

- 四倉・久之浜地区は、朝は広野方面、夕方は平方面に向かう車線で渋滞が起きている。主な原因は原発関係者と考えられる。通常は上下線とも渋滞が起こるが、今回は特殊だと考えられる。道路整備のみでは解決できない部分もあり、地元住民から改善の要望もある。
- 番匠地交差点については、パイパスを利用した際に平・内郷方面へ抜ける唯一の場所となっていることから、本線まで渋滞が発生している場合もある。
- 常磐から内郷にかけては道路が一本しかないため、年中渋滞している。
- 渋滞により生産性が低下するため、道路整備のみに頼るのではなく、働き方の改善などしなければいけないことは理解しているが、なかなか進んでいない。
- 現在は、コロナ禍もあり、一時中断しているが、朝夕の渋滞解決の方法の一つとして、市職員が公共交通を利用して通勤する取り組みを行っている。
- 市内交通事業者から、朝夕の通勤時間に鹿島街道などでは、一台の自動車に一人しか乗っていない車両が多く、渋滞が発生する要因の一つであると聞いているため、公共交通の活用増進や乗合などの取り組みも必要であると考ええる。
- 復興創生期間が今年度で終了となり、国道6号の交通も今後減少傾向になると予想されるため、引き続きモニタリングを続けていく。  
廃炉関係者については、今もバスの乗合を活用している方も多いが渋滞している。除染作業は今年度で終了することから、四倉・久之浜地区のような特殊な渋滞は少し緩和してくると推測される。  
自動車から公共交通へシフトしていくことが非常に重要であるが、不便な公共交通では難しい。公共交通の利便性の向上とあわせた取り組みが必要。

### ⑥ 公共交通ネットワーク方針（案）について

### ⑦ 今後の道路整備の視点と都市交通の目標（案）について

- 公共交通ネットワーク方針図について、例えば、田人地区については、地域内交通のみ表示だが、ここから広域拠点等への接続は考えているのか。
  - ➡ 田人地区へは支線バスのラインを結んでいないが、当該地区では、住民ボランティア輸送を行っており、地域住民が中心となり、買い物や通院を目的とした地域内高齢者の植田地区方面への送迎を行っている。このため、図面上では、田人のみになっているが、勿来も一部含むような形である。  
地域内交通については、住民ボランティア輸送だけでなく、デマンド型交通や、タクシー、民間輸送資源の活用など、様々な手段の中から最も地区に適した手段を地域住民の皆様と相談しながら、選択していきたいと考えている。

- 中山間地域では、人口減少が進む中、住民ボランティア輸送などを維持していくことは可能なのか。
  - ➡ 現在、車両は市で確保し、無償で地域住民の方にドライバーをお願いしているが、ドライバーの確保が困難になってきている。  
住民ボランティア輸送を行っている、田人地区・三和地区においても、人口減少が進行すると維持することが困難になる可能性もあると考えているため、他の手段を確保することについて検討する必要がある。
  
- 今後の道路整備の視点（案）について、低炭素化や環境負荷への視点が抜けているように思う。
  - ➡ 追加を検討する。

## 7 会議の様子

